

令和8年度 入学式式辞



本校を取り囲む丘の数多くの桜も、新入生の入学を祝福するかのように見事に咲き誇っています。この佳き日に多数のご来賓の皆様ご臨席のもと、かくも盛大に入学式を挙行できますことを厚く感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました360名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

本校は大正十年、石川県立金沢第三中学校として開校し、昭和二十四年に現在の金沢桜丘高校と校名を改め、今年で創立百六年目を迎える、地域が誇る伝統校です。本校は建学以来「質実剛健」「文武両道」の校訓・校是のもと、高い志を持ち社会に貢献する数多くの卒業生を輩出してきました。今皆さんも、その仲間入りを果たすべく、県下でも有数の高い倍率を勝ち抜き、凛とした姿でこの場に臨んでいることと思います。

さて、今皆さんの心の中にはどのような思いが満ちているのでしょうか。未来に向けて新しい一步を踏み出す決然とした覚悟でしょうか、それとも未知の世界への不安でしょうか。おそらく期待と不安が入り混じった複雑な心情は、皆さんが感じているところだと推察します。

これから始まる高校生活の三年間は、あっという間に過ぎ去ることでしょう。本校は「文武両道」の名のとおり、ほとんどの生徒が部活動に入り、仲間とともに夢中になれる目標を追いかけいています。もちろん勉強にも、全力で向き合って次のステージに立つべく努力し続けている生徒が圧倒的に多い学校です。そうした環境こそが、本校の伝統であり、誇りです。

高校時代には、自らの足でしっかりと立つこと、すなわち「自立した大人」になっていく必要があります。そのためには、自らの意志で、自らの目標に向かって行動していく自覚が大切です。それは自らを律して、自らの行動に責任を持つことが求められます。そうして初めて、今の自分よりも大人として成長していくことができます。

成長とは「変化」することです。小さなアオムシが大きなアオムシになることは、成長とは言いません。それはなぜかと言うと、能力に大差がないからです。さなぎに成長し、そして蝶になる。羽を広げて空を飛ぶことができるようになる。それを成長と言います。

しかしながら、変化には「勇気」が必要です。なぜなら、いったん「蝶」になってしまったら、もう「アオムシ」には戻れないからです。成長するためには、昨日までの自分を捨てなければなりません。自分の中にある良さを持ちながらも、新しい自分にバージョンアップするために、勇気をもって高校生活に取り組んでほしいと思います。時には失敗や思い通りにいかないことを前に苦しい思いをすることもあるでしょう。一方で、喜びや感動に心震わせることもあるでしょう。すべての経験が皆さんにとってかけがえのない成長の機会となります。一瞬一瞬を大切に、そして今まで見えなかったことに気づくようになったならば、さらに立派で魅力的な姿となってこの学び舎を後にしてくれるはずです。私たち教職員一同、そのサポートに全力を尽くすことをお約束します。

保護者の皆様、改めて心よりお慶び申し上げます。今ほど申し上げた通り、高校時代とはお子様が心身ともに大きく成長する時期です。保護者の皆様におかれましても、引き続き温かく、そして時には毅然と、お子様が自立するための苦闘を見守っていただきますようお願いいたします。

最後に、本日ご列席の皆様重ねて感謝申し上げます。新入生の皆さんが、笑顔にあふれ充実した学校生活を送ることを期待して式辞といたします。

令和8年4月8日

石川県立金沢桜丘高等学校
校長 石尾 和彦